# あしたむらんどだより

## 小学校最後の運動会

六年一組　朝山連夢

六年生での学校生活が、ちょうど半分、折り返しのころの十月三日、ぬけるような青空の下、ぼくにとって小学校生活最後の運動会が行われました。

今年の運動会のスローガンは、「情熱！協力！絆！戦え！燃えろ下條っ子魂」で、ぼくは、このスローガンの中で、特に、「魂」という部分が好きでした。なので、自分は、競技でも応援でも係活動でも、全てにおいて一生けん命やり、魂をこめようと、考えていました。

具体的には、短距離走とリレー、組体操をがんばりたいと思っていました。

まず、短距離走です。五人で走りますが、二位以内という目標がありました。なぜかというと、練習の時に、いつも二位だったので、本音は一位をとりたいけれども、前の人とかなり差がつくことが多かったので、二位以内としました。

レースがスタートしました。二レーンだったぼくは、外側のレーンの友達を追いかけながら、調子よく飛び出すことができました。カーブにさしかかると、いきなり内側からいつも一位の人が前にぬけ出て行きました。その勢いに圧倒されて、ぼく自身かなりあせり、結果は三位でした。ショックでした。くやしいの一言でした。

次に、紅白リレーです。僕は補欠だったので、レースに出場することはできませんでしたが、この日のために二週間以上、選手たちと一緒に練習してきたので、絶対に成功してほしいと思いながら、レースのサポートをしました。見ごたえのある勝負で、ぼくもうれしかったです。選手として走ることはできなかったけど、初めてリレーの一員になれてよかったです。

さて、組体操です。運動会の練習のほとんどが組体操の練習でした。ぼくは下で支えることが多かったので、痛みの連続でした。

今年は、かなり難しい技をいくつもとり入れたので、最初のうちは、完成することが少なく苦労しました。だんだんできるようになりましたが、上に乗る人の体がぼくの体にくい込む痛さと、地面の小石がめり込む痛さで練習はきつかったです。

本番当日、暑くつかれた中での最終種目。組体操「誕生から今日の日まで」が始まりました。技の一つ一つは、ぼくたちが産まれて今に至るまでの成長場面を表していました。例えば、ブリッジならば、「大きくなった母のお腹」、片手バランスなら「ね返り」、倒立なら「竹馬遊び」といった感じでした。

一人技から入りました。一人技は四つあって、どれも成功しました。次に二人技をやりました。と中まで順調だったけれどもペアを変えた後のサボテンという技で失敗しました。前半の肩車までは成功していましたが、最後のふんばり所で落としてしまいました。くやむひまもなく、どんどん技が進んでいきました。一つ目の山場は、四段の俵でした。僕は二段目ですごく重さがきて、きつかったです。でも、落ちなくて成功できてよかったです。山場はどんどん続きます。二つ目の山場は、四段のタワーでした。山場中の山場でした。というのも、最初のうちは練習でほとんど完成することがないぐらい難しい技だったからです。つくっている時は、痛みと一番上の人が乗れるかなという不安がありましたが、みんなを信じながら、完成の笛を待ちました。笛と同時に大きな拍手とどよめきが起こり、完成したということがわかりました。痛みはありましたがうれしかったです。とても感動しました。最後の山場は、立体ピラミッドです。学年で一機立てるということで、四十七人技でした。六段の一番上の人が立ったことは、やはり歓声でわかりました。残り一つの円陣技も完ぺきに決まり、組体操が終わりました。大成功だったと思います。

組体操を通して、ぼくは、ぼくが誕生したこと、今生きていることへの感謝の気持ちを、表したつもりです。なので、家に帰ってほめてもらった時は、やってよかったと思いました。これからもそういう気持ちを大切にして生きていきたいと思います。

## 心がひとつになった清明祭

三年B組　吉村優香

第四十四回清明祭は、「One heart～会員全員で心をひとつに～」というスローガンのもと、開催されました。この二日間のために、全校で様々な準備をしてきました。生徒会役員は、自分の任された役に責任を持ち、夏休みや土日にも学校に登校して準備をしてきました。準備は予想以上に大変でしたが、その分、どの企画も完成度の高いものになりました。

今年度のステージバックは、フィンガープリントペイティングという手型と指紋を使った巨大な絵を制作しました。全校が協力して完成した素晴らしいものになりました。

体育祭は、生憎（あいにく）の雨だったので体育館で行われました。しかし、雨でも楽しめるように昨年と種目を変えたり、クラス全員が参加できる種目を体育委員が計画してくれました。そして、赤組白組、両者とも大接戦で盛り上がり、楽しい体育祭になりました。

私は、実行委員企画を運営しました。どんな事をすれば全員がひとつになれるのかを考え、全校でコップを使って音を奏でるCUPS（カップス）にしました。リハーサルは、全校生徒がいない状態で行ったため不安もありましたが、当日は全校でハート型になって心をひとつに奏でることができました。

開閉祭式では、係の制作・出演による、「映画ドラエモンのびたと清明祭ヒーローズ」が上映されました。映像自体は短いものでしたが、撮影や編集には何時間も費やした、笑いあり、感動ありの映画でした。

他にも、One heartのテーマに沿って書かれた発表者の思いの込もった意見文発表。三年生にとっては最後の演奏で、会場が盛り上がった吹奏楽部発表。各クラス、学年の心をひとつに歌声が響きあった音楽会。各学年で取り組み、聞く人に伝わる発表だったからみ発表など、どれも会員全員が協力し、心をひとつにしたものになりました。

このように、会員全員がOne heartになり、笑顔の絶えない本当に楽しい清明祭を作り上げることができました。そして私にとっても、心を合わせることの難しさと、それ以上の喜びを感じることのできた、最高の二日間となりました。





# 村の図書館から

## 「下條村読書月間」が始まります！

今年も、下條村読書月間が始まります（十一月十四日～十二月二十日）。期間中は、古本交換市、おたのしみ会、福祉バスの特別運行、おすすめの本&新刊リスト全戸配布、雑誌のふろくプレゼント抽選などお楽しみが盛りだくさんです。

**十一月十四日(土)より、来館し貸出のあった利用者(一家族一枚)に〝開館二十周年記念利用バッグ〟を先着順でプレゼントします。（五百枚限定!!）**

## 秋のおたのしみ会のご案内「人形づくり教室」第三弾

**日時**　十一月十五日(日)十時

**場所**　あしたむらんど会議室

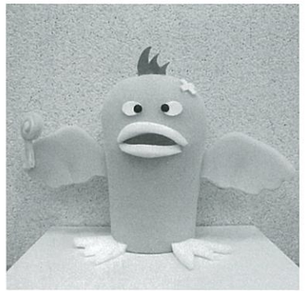
**内容**　「カラーウレタンで作るゆかいなパクパク人形」

**講師**　吉澤亜由美さん（人形美術家・山一西）

**対象**　年少児～大人（三十人まで）保育園児の参加には、保護者同伴でお願いします。

**材料費（人形一体につき）**　カラー（ブルー・ピンク・クリーム）は二百二十円　ホワイトは百六十円。

**持ち物**　人形につける毛糸・フェルト・布・レース・ボンボン・スパンコールなど。きれいなカラーウレタンを貼り合わせるだけで、ゆかいなパクパク人形を作ることができます！



カラーウレタンで作るパクパク人形

図書館カウンターに、見本があります。詳しくは、おたのしみ会チラシをご覧いただき、お申し込みください。

## 文化の祭典での展示

今年度、図書館のおたのしみ会から生まれた作品を、文化の祭典に展示します。「書道で遊ぶおたのしみ会」と「パクパク人形」の作品展示です。どうぞ、おたのしみに。

## 小学校体育館の防災機能強化事業（吊り天井撤去等工事）完成　中学校体育館は工事実施中

大地震の際、吊り天井などの落下による人的被害が発生したため、緊急避難場所として利用される、小中学校の体育館などの防災機能強化事業を実施しています。小学校の体育館は、工事費四千五百万円余をかけ、工期は夏休みを挟んで、六月二十三日から九月三十日に実施しました。吊り天井の撤去や屋根の塗装、外壁補修等が完成し、安心して使用することができるようになりました。

中学校体育館は、中体連新人戦下伊那大会を終えてから体育館内の工事を始める計画で実施しております。工事費七千八百万円余、工期は七月二十四日から平成二十八年二月十五日で実施します。卒業式はきれいになった体育館で行える予定です。

## 新ALTの紹介

ショーン　オドンネル

イギリス出身の三十五歳です。八月より下條村のALT（外国語指導助手）として、小学校・中学校で働いて頂いています。とても陽気な性格ですので、気軽に「ショーン先生」と声をかけてください。

よろしくお願いします。

ショーン先生の英会話教室を村民センターで開催しています。おとなの教室は毎週火曜日午後七時三十分から、こどもの教室は毎週木曜日午後七時からです。無料で参加できますのでご興味のある方は教育委員会までご連絡ください。